



## 過飽和エマルジョン

### SEタイヤコート

### 取扱い説明書

すべての警告・注意事項、施工説明を読み理解するまで取り扱わないようお願いいたします。本説明書の項目を無視した使用方法におけるトラブルに関しては一切の責任を負いません。

### 警告！ (WARNING！)

#### ！吸入・飲用不可

人体に害があるため吸入・飲用できません。

#### ！刺激性

皮膚に付着すると炎症を起こす恐れがありますので、必ず保護手袋・保護メガネを着用してください。

#### 注意！

- ・取り扱い後は水と石鹼でよく手を洗ってください。
- ・40度以上の高温になる場所（車内など）や直射日光を避けて保管してください。
- ・力を入れ過ぎて施工した場合、キズの発生する原因となります。優しく塗ってください。
- ・施工はあくまで、個人の責任において行ってください。
- ・炎天下、直射日光の当たる場所での使用、ボディーが熱い時の施工は絶対に避けてください。
- ・子供の手の届くところに保管しないように注意してください。
- ・定められた使用用途以外に使用しないでください。
- ・自転車、バイクには使用しないでください。タイヤの接地面には使用しないで下さい。滑って危険です。

#### 製品特性に関して

- ・本製品は水性エマルジョンタイプですが、過飽和状態のため分離した状態になります。振ってからご使用ください。
- ・容器はスプレータイプになっていますが、液剤の粘度が高いため拡散噴霧せず直線的に噴射します。希釈した場合は拡散噴霧します。
- ・本製品は通常の水性タイヤコートの数倍（3～5倍）の艶出し保護成分を含むため、お好みに合わせて希釈使用することが可能です。

#### ■品名

過飽和エマルジョン型水性タイヤコート（SEタイヤコート）

#### ■成分

変性シリコン、MQレジン、界面活性剤、メチルセルロース

#### ■容量・容器素材

容量：200ml 容器：ポリエチレン、キャップ：ポリプロピレン

#### ■効果、効能

タイヤゴム部分の艶出し保護。自動車樹脂部分の艶出し保護。樹脂バンパーの虫の死骸固着防止。

## 基本的な使用方法

### 使用前

使用前には施工部分の汚れを除去する必要がありますが、タイヤはデリケートな素材です。洗浄は泥などの固着物を除去することと、凹凸を伴わない汚れに関しては上からコーティング剤を施工して下さい。

### 使用方法（タイヤに使用する場合）

- 1、艶を重視した使用方法の場合は洗車後にタイヤに付着した水分を拭き取って、本製品をタイヤ、もしくはスポンジに1～2プッシュ取って塗り広げます。タイヤ1本で6プッシュが目安です。大きいタイヤで10プッシュ程度です。
- 2、塗りすぎてしまった余剰分は空拭きで上げると整った艶感が得られます。そのまま放置しても水溶性の硬化被膜が出来上がり、艶出し成分に汚れが取り込まれることを防止するためベタベタしません。また汚れしてきた場合の除去も容易です。

※1 タイヤが濡れた状態でも原液で使用する場合は水性とは思えない優れた艶が得られます。※2 液剤を希釈しても同様に優れた艶が得られます。※3 艶、保護重視の場合は原液での使用をお奨めいたします。

## Supersaturated Emulsion 過飽和エマルジョンという性能。

### 過飽和エマルジョンとは？

通常の水溶性タイヤコートなどは、シリコンオイルを界面活性剤で乳化状態（超微細均一分散状態）にしたもので、水性という呼び名ですが艶出しを演出しているのは油分です。ただしシリコンオイルは化学合成によって得られたSiとの結合をもつ安定性に優れた物質であり、想像するような劣化性質を持つ「油」ではありません。

界面活性剤がシリコンオイルなどを乳化できる限界量がありますが、これを超えた濃度で乳化させている状態を過飽和状態と言います。SEタイヤコートは界面活性剤が分散しきれない状態までシリコンや、レジンなどの艶出し保護成分を配合し、界面活性剤がタイヤにダメージを与える影響を極限まで低減しつつ、艶出し保護性能を特化した究極のタイヤコート剤です。

こういった状態であるため液剤分離が起きますが、本来分散不良であると断ってしまうこの状態は製品の仕様としてあえて作り上げた状態です。

### 使用できる素材

●自動車のタイヤ側面 ●アクリル・ポリカーボネート・ウレタン・PP・PE・ABSなど自動車に使用されている樹脂面

### 使用できない場所、推奨できない場所

●ガラス

### 製品特性（水性被膜について）

本製品は艶出し保護の成分を通常の3～5倍程度含んでいるため、原液使用で余剰分を拭き取らないような施工方法の場合にタイヤ表面がベタベタしたり、艶出し成分に埃や泥、汚れが吸着されてしまう事を防ぐために、水溶性の硬化被膜（フィルム）を形成します

本格的な硬化被膜を形成するとゴム表面に悪影響を与えたり、汚れが落ちにくくなったり、接触があった時に傷として残りやすくなってしまいますが、水溶性被膜のため簡単に除去できるうえに、タイヤに有害な紫外線を大幅にカットすることに成功しています。

<http://cp-materials.com>（WEB解説、検証結果などが掲載してあります）

販売元 株式会社 スプレモテクニカ CPM事業部 神奈川県横須賀市三春町1-2-2